校訓　渾身勉学　白鳥蘆花に入る

白　鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する　児童の育成～

令和５年度
千代田東部小学校 学校だより
NO．４１

令和6年　２月２８日
文責　冨永　和重

ありがとうの会

２月２１日（水）の朝の時間、日頃からお世話になっている地域の方への感謝の気持ちを伝える「ありがとうの会」を行いました。

この会に向けて、１・２年生がプレゼントのお花を準備する、３・４年生がネームプレートや会場の飾りをつくる、５・６年生がメッセージカードをつくるなど、日頃お世話になっている地域の方を思い浮かべながら感謝の気持ちを形にしていきました。

当日は、お招きした地域の方を前に、６年生が進行を行いました。代表の子が感謝の言葉を述べたりプレゼントを渡したり、また、全校で校歌を歌ったりしました。大変寒い朝でしたが、体育館はあたたかい空気に包まれました。

本来ならお招きすべき方が他にもいらっしゃったかと思いますが、子供たちには、地域でお会いした時に感謝の言葉を伝えたり、笑顔で挨拶をしたりして、ありがとうの気持ちを伝えるように言っています。

地域の皆様、本当にありがとうございました。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

委員会 新メンバーでスタート

２月２６日（月）の委員会活動から、来年度に向け、新体制での委員会活動がスタートしました。来年度高学年の仲間入りする４年生も委員会のメンバーに仲間入りし、現在の６年生が、新体制の４年生・５年生に仕事を教えてくれています。

放送委員会では、緊張した面持ちでマイクに向かったり、ボランティア・美化委員会は朝早くからお花の水やりを行ったりして、意欲的に活動しています。６年生も、「～（こういうふうに）～した方がいいよ」と的確なアドバイスをしたり、当番を忘れていないか気にかけたりして、先輩らしい姿を見せてくれています。

６年生と一緒に過ごせるのも、仕事を教えてもらえるのもあと２週間ほど。６年生から受け継ぐバトンをしっかりつないでいきたいと思います。

あいさつがんばります

校長として、様々な会合に出席することがあります。また、地域の方が学校においでになられていろいろお話を伺うことがあります。

その時、よく話題になるのが子供たちのあいさつです。地域の方からは、「子供たち、よくあいさつをしてくれますよ」「元気をもらっています」など、お褒めの言葉をいただきます。個人差はあるとは思いますが、褒めていただいたことは子供たちの励みになります。褒められたことは子供たちにも伝え、さらに元気よく・笑顔であいさつできるようにしていきたいと思います。

学校の一コマ　お願い！くすの木さん

運動場の北東隅・バックネットの近くに大きなくすの木があります。「くすの木さん」と呼ばれる本校のシンボル的存在ですね。

最近、登下校時に、東門から出入りする児童が、この「くすの木さん」に向かってお祈り？をしている姿が見られました。

おそらく、昨年末ぐらいからでしょうか。ほぼ毎日、ランドセルを背負ったまま「くすの木さん」に向かって手を合わせています。

手を合わせている子供たちに話を聞くと、この「くすの木さん」に願い事をすると、その願いが叶うのだそうです。お願いの中身はヒミツでしたが、なんだか子供らしくてかわいいですね。

子供たちのお願いが叶うといいですね。